



ヤジヤーガマ遺跡

指定名称 ヤジヤーガマ遺跡
(町指定史跡)

所在地 久米島町字仲地知那久原1442-68

指定年月日 昭和51年6月30日
(旧具志川村指定)

所有者 久米島町

ヤジヤーガマ遺跡は、久米島では最大の鍾乳洞で全長800mを測る。開口部は3カ所あり、開口部から光が届く範囲には貝塚が確認できる。遺跡は、洞窟内に展開しているため後世の攪乱が少なく、保存状態の良い遺跡である。当遺跡からの出土遺物は、貝塚時代後期系の土器とグスク時代初期の土器や貝製品、徳之島産の類須恵器、それに炭化麦、炭化米などが多様に出土し、貝塚時代後期からグスク時代への移行期を知る上で重要な遺跡である。

